

県南さんぽだより 第40号

発行所 茨城県南地域産業保健センター TEL: 0297-79-1066 FAX: 0297-79-1068 発行人 大西 慶造

ホームページアドレス <http://www.intio.or.jp/m-sanpo/>

「職業性接触皮膚炎」

稲敷医師会 会長・かない皮フ科 院長 金井 貴子



阿見町で皮膚科を開業しています。

皮膚の病名は難しい漢字が多く、「白癬(バクセン)」水虫のこと、「症贅(ユウゼイ)」イボのこと、などなど、小学生のころから漢字の苦手だった私は、医学生のころ皮膚科には、いくのはやめよう、と思っていたのですが、何故か皮膚科医になってしまいました。

皮膚の「膚」という字も難しいので、診療所の名前も「かない皮フ科」とカタカナ表記にしています。

ある日患者さんから「皮膚の『膚』の字は中に『胃』という字が入っているから、胃腸とか内臓と関係するんですね」と言われました。確かに「皮膚は内臓の鏡」と言われます。でも、調べてみたらは膚+田が「ツボ」のような意味でこの下に肉体を表わす月(肉月)が付いてできた漢字だそうです。下に心がついて思慮の「慮」、力がついて捕虜の「虜」となります。「膚」は月(肉体)を覆っているものという意味で、「皮」も「膚」も皮膚を表す字のようです。皮膚は体を覆って外からの物理的、化学的な多くの刺激から体を守るのが重要な役目であり、多種多様な刺激が、皮膚障害となって現れます。

職業性皮膚障害は、わが国だけでなく諸外国においても、労災補償上認定される業務上傷病の中で、最も件数の多いものとされています。中でも職業性接触皮膚炎(かぶれ)の頻度が最も高く、職業性皮膚疾患の7~8割を占めているそうです。接触皮膚炎(かぶれ)は大雑把に分けると刺激性のものとアレルギー性のものに分けられます。

刺激性皮膚炎は一定の量以上になれば最初から誰にでも生じます。例えば酸やアルカリの薬品です。誰にでも生じるので、職場での対策が必要です。セメントは土木・建築現場でよく使われる材料です。乾いたセメント粒子は皮膚の表面を削り取って傷つけ、皮膚の水分を吸い取るため手が荒れます。また、セメントはアルカリ性で水と混ざることによって、セメント熱傷を起こします。これは誰にでも起きる反応です。しかし、金属アレルギーのある人ではセ

メントの中に微量に含まれるクロムなどの金属でかゆくなります。

アレルギー性のものは原因となるものが何回か作用しているうちに、特定の人だけに起こり、微量に付いただけでもでも発症します。「今まで何でもなかったのに…」と、皆言いますが、今までに何回か使ったことがあるので発症します。毛染めも50~100回位するとかぶれ易くなるそうです。その毛染めをしたり、毛染めをした髪をシャンプーする理・美容業の方の手荒れは代表的な職業性接触皮膚炎でしょう。高齢化社会となり、介護施設も増えていますが、そこで働く介護士も入浴介助などで手が荒れている方が多くいます。手を保護するためのゴム手袋でもかぶれます。ゴムに含まれるラテックスはアレルギーの原因の一つです。

多種多様なものがアレルギーの原因となり、それは

特殊なものとは限りません。チューリップはオランダ

では代表的な職業性接触皮膚炎の原因です。小麦でかゆくなるイタリア料理のコックさん、エビでかゆくなる寿司屋の板前さん、レタスでかゆくなるスーパーの従業員の方、松を剪定すると腕に湿疹のできる植木屋さん、いろいろな方がいます。特定の人にしか生じないので、周りの何でもない人からは理解されず、仕事を続けている限り良くなりません。薬をつけながら頑張って仕事を続ける人もいますが、配置転換、転職を余儀なくされる場合もあります。

職業性とは関係ありませんが、最近ある石鹸での接触皮膚炎が問題になりました。泡立ちをよくするために石鹸に加えられていた加水分解小麦によってかぶれが生じました。この石鹸で顔を洗っているうちに、一部の人はだんだん目の周りがかゆくなりました。さらにそのうち、うどん等の小麦を含む食事でも同じように目の周りがかゆくなったり、じんましんが出たりというアレルギー症状を起こすようになってしまいました。中にはアナフィラキシーシ

ックと言って意識を失うような強い症状を起こした人もいます。

また、アレルギー性の接触皮膚炎には交叉感作と言って一つのものにかぶれると別のものにかぶれるようになることがあります。漆でかぶれたことがある人はギンナンでもかぶれたりします。ラテックスでかぶれたため、栗を食べてアナフィラキシーショック症状を起こしたりすることがあります。接触皮膚炎と言っても単にかゆくなるだけではなく重大なことになることもあるので注意が必要です。

接触皮膚炎の診断のためにはパッチテストというのを行います。原因と思われるもの、たとえば手袋とか、薬品とかを実際に皮膚に付けてその反応を見ます。職業性の接触皮膚炎と思われる方は原因として疑わしいものを持参して皮膚科を受診してみてください。

【県南地域産業保健センターから】

●産業保健関連情報

「夏バテ」に隠れた病気 注意を

厳しい残暑が続くと「夏バテ」しないか心配だ。部屋の温度や湿度を調整したり、栄養バランスがとれた食事を心がけたり…。どんなに気をつかっても改善されなければ、夏バテでなく、違う病気も考えられる。夏バテとはどんな状態のことを言うのだろうか。「何となくだるい」「食欲がない」などが思い当たる。「夏バテ」という言葉は医学用語ではないので、病気としてとらえられていない。

全身の倦怠感や食欲不振など、夏バテは「夏の疲れ」と考えられていることが多い。夏バテになったからといって病院に行くことは少ないが、本当の病気を見逃してしまうことが危ない。倦怠感をきたす病気が夏に起きたため、夏バテとして見逃す可能性がある。

夏バテと間違われやすい病気は睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害や熱中症が多く、鉄欠乏性貧血のような血液疾患や急性肝炎などの感染症、甲状腺機能障害と言った内分泌代謝疾患などがあげられる。なかでも気をつけたいのが、うつ病と糖尿病だ。

一般内科を受診した患者のうち、身体症状をともなったものを含めれば、4割ほどは精神面や心理面の問題を持っているともいわれている。本人が気づかないまま倦怠感などを訴えて病院に行き、そこで初めて「うつ病」と診断されることも珍しくない。

糖尿病も倦怠感から見つかることがあり、農業や自営業など、定期的な健康診断を受けられない人に多い。発見が遅れるほど、合併症は起きやすい。厚生労働省によると、年間1万人ほどの糖尿病患者に人工透析が必要となり、視覚障害は年間で約3千人

が発症している。

ほかに見逃したくない病気としては甲状腺疾患や癌やH I Vなどもある。甲状腺疾患は早く見つけられれば、本人も楽になり、甲状腺機能低下症などはホルモン剤によって、症状が劇的に改善されるという。

しかし自分の状態が夏バテなのか、それとも病気なのか、判断することは難しい。2、3日休んでも回復しなければ、おかしなサインである。疲れているのに眠れなくなったり、好きなものを食べられなくなったりしても注意が必要だ。倦怠感が長引いたときは、かかりつけ医など、気軽に相談できる医師がいるとなおよい。なかなか症状が改善されないときは、単なる夏バテと思いつまず、医師に診てもらうことを考えよう。

●これからの行事予定

・龍ヶ崎地区全国労働衛生週間準備打合せ会

主催：(一社)龍ヶ崎労働基準協会

日時：平成24年9月6日(木)13時45分～

場所：龍ヶ崎市文化会館小ホール

内容：①全国労働衛生週間の実施要綱などの説明
②特別講演 演題「タバコって、いったい何だろうー知らなきゃ損するタバコの正体ー」
講師 阿江 竜介氏(公立浜坂病院)

併催：県南地域産業保健センターの健康管理イベントは11時45分～特定健康相談会(従業員の健康管理、メンタルヘルス等)・血圧測定/無料特定健康相談(当日の協力産業医は山村邦男先生)是非ご参加ください。

・10月3日(水)茨城県産業安全衛生大会

主催：(一社)茨城労働基準協会連合会他

場所：ホテルレイクビュー水戸

時間：13時～16時45分

・10月20日(土)第15回取手市健康福祉まつり

主催：取手市健康福祉まつり実行委員会

場所：グリーンスポーツセンター・取手市立保健センター・線寿荘

時間：9時～15時

・第71回全国産業安全衛生大会2012in富山

主催：中央労働災害防止協会

開催期間：10月24日(水)～26日(金)

・11月16日(金)優良事業場視察研修会

主催：(一社)龍ヶ崎労働基準協会

場所：未定

時間：10時～